

平成二十二年度

日本近世文学会秋季大会

- ・ 大会プログラム
- ・ シンポジウム要旨
- ・ 研究発表要旨

期日 九月三十日(金)、十月一日(土)、二日(日)

会場 高麗大学校

(百周年記念館地下一階国際遠隔会議室・西館一階二三二号講義室)

〒136-701 大韓民国ソウル特別市城北区安岩洞五街

連絡先

〒136-701 大韓民国ソウル特別市城北区安岩洞五街六五番地

高麗大学校日本研究センター

電話十八二一二・三二九〇・五三〇一(所長室)、

二八五八(金津研究室直通)、五三一一(日本文学研究室)

メール h-kanzu@korea.ac.kr

一、八月十八日(木)までに、アマリス (<https://anarysys.jp/jp/kinseljou>) より参加登録を行ってください。今回、出欠伺いの葉書・振込用紙はございません。

二、大会経費は、参加費千円、歓迎会費(初日)三千円、懇親会費(二日目)五千円、文化実地踏査(三日目)二千円です。

三、文化実地踏査には、昼食、貸切バスが付きます。また、踏査終了後の夕刻、有志(参加希望者)によるティップリ(大会校へ謝意を表す会)を開催します。

四、料金のお支払いは、銀行振込、ペイジー、コンビニエンスストアでのお支払いが可能です。アマリスの指示に従い、八月三十一日(水)までに支払いをお願いいたします。

五、出張依頼状を御入用の方は、職名・提出先及び期間を明記の上、学会事務局(大阪大学)へお申し出ください。

六、大会に参加される方は、必ず参加登録を行ってください。宿泊等については、各自、早めにご手配ください。なお、安全のためにも、学会企画のツアーパックのご利用をお勧めいたします。

七、今大会の発表資料は、次回春季大会において、ご希望の方に、実費にて配付いたします。

八、年会費の振り込みはできません。年会費の振込用紙は「近世文藝」の末尾に綴じ込んでいます。

九、参加登録・パックツアーに関するお問合せは、株式会社JTB西日本コミュニケーション事業推進室MICEセンター「日本近世文学会高麗大学校大会」係(電話〇六・六二五二・二八六一、ファックス〇六・六二五二・二八六二、メール wstec_0p11@west.jtb.jp)へご連絡をお願いいたします。

十、大会期間中の緊急連絡先は、金津日出美(〇一〇・九七八三・一・九一八八)、高永爛(〇一・九〇〇九・九九九九)、金時徳(〇一〇・九二三九・五九三九)までお願いいたします。

十一、九月三十日(金)日中には、担当者が仁川空港、金浦空港に待機します。必要な場合、右連絡先までお問合せください。また、金浦空港では、大会実行委員(森田雅也、〇九〇・五九七六・三八二二、韓日共通)も対応いたします。

日本近世文学会秋季大会のご案内

会員の皆様には時下ますますご清祥のことと存じます。
さて、平成二十三年度秋季大会を左記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。

平成二十三年八月八日

【会場】高麗大学校

【行事】

- 第一回目 九月三十日（金）
- 大会受付（一五・三〇～）
- 開会時間（一六・三〇）
- シンポジウム（一六・三〇～一八・三〇）
- シンポジウム会場 百周年記念館 地下1階 国際遠隔会議室

シンポジウム「日本近世文学と朝鮮」

発表者

韓国 の 日本近世文学研究、日本近世文学研究の朝鮮古典小説味読、その意義と展望
韓国における日本近世古典人文学研究の翻訳出版—現状と課題—
壬辰倭乱（文禄の役）と日本近世文学

朝鮮通信使から学芸共和国へ

司会

コメンテーター

歓迎会（一九・〇〇～二一・〇〇）
歓迎会会場 母心（モシム） 住所 城北区安岩洞五街一二六一八三 電話 十八二一二一九二四・五五五一

司会

第二回目 十月一日（土）
大会受付（九・〇〇～） ※第一会場のみ
研究発表会 午前の部（九・三〇～二二・二〇） ※午前の部は二会場で併行して開催

【第一会場】百周年記念館 地下1階 国際遠隔会議室

- | | |
|---|--------------|
| 1 馬琴の懲悪論—儒学思想と異国観との関連を中心として— | 筑波大学（院） |
| 2 『太平記演義』の底本と成立過程について—「太平記抜書」としての性質に着目して— | 東京大学（院） |
| 3 近松淨瑠璃『本朝三国志』の第五段目について—人形、舞台、語りを中心に— | 同志社大学（院） |
| 4 文化初年の鶴屋南北 | 東京大学（院） |
| 5 京舞井上流と歌舞伎—上方舞踊詞章成立の背景— | 日本学術振興会特別研究員 |

第一会場 西館1階 132号講義室

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| 1 『橘窓茶話』に表れたる雨森芳洲の漢詩觀 | 大阪大学（院） |
| 2 『本朝一人一首』考—諸本と板行の經緯— | 総合研究大学院大学（院） |
| 3 『野傾友三味線』にみる北条団子の創作技法—其磧の受容を中心として— | 早稲田大学（院） |
| 4 鼻山人の人情本—「欲」という人情— | 東京大学（院） |
| 5 『一休諸国物語』『当世手打笑』と西鶴本 | 日本学術振興会特別研究員 |

—『万の文反古』五の二及び『浮世栄花一代男』二の三をめぐつて—

日本学術振興会外国人特別研究員

昼休み（一一・二〇～一三・四〇）

昼食会場

西館1階

132号講義室

日本近世文学会秋季大会会場校代表 崔洋一 官 沢

【事務局連絡先】

〒560-8533 大阪府豊中市待兼山町一-十五
大阪大学大学院文学研究科 飯倉研究室内
TEL・FAX ○六一六八五〇一五六八一
e-mail iikura@let.osaka-u.ac.jp

委員会会場 日本研究センター 1階会議室
編集委員会会場 日本研究センター 2階円形講義室

研究発表会 午後の部（二三・四〇～一七・五〇）
研究発表会場 百周年記念館 地下1階 国際遠隔会議室
開催校挨拶

1 近松の作品と朝鮮—近松の捉えた朝鮮像—
（膝栗毛もの）合巻と二代目岳亭考

2 草子系『淨瑠璃御前物語』について
3 日本における代表的孝子の形成—『本朝孝子伝』古典章段を中心として—
4 雲錦亭の藏書形成—賀茂季鷹の知源—
5 『月氷奇縁』の画工
6 軍書の中の小早川隆景—碧蹄館の戦いを中心に—
7 閉会（一七・五〇）

閉

懇親会（一九・〇〇～二一・〇〇）
懇親会会場 ホリデイ・イン城北 宴会場 住所 城北区鍾岩洞三・一三四三 電話 十八二・二一五八四一六五〇五

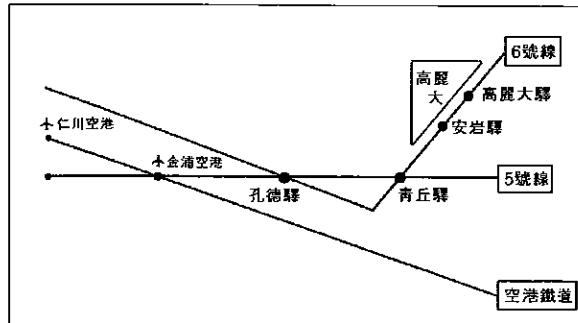
第三日 十月二日（日）

文化実地踏査（一・〇〇～一七・〇〇）
集合場所・時間 ホリデイ・イン城北1階ロビー 九・三〇集合
故宮等、文化遺跡をめぐります。踏査終了後、有志で、ティップリ（日本近世文学会が開催校に感謝の意を表する会）を開催します。

図書展示 「高麗大学校博物館常設展」
日時 九月三十日～十月二日、一〇・〇〇～一七・〇〇開催
場所 高麗大学校博物館（百周年記念館併設）
展示内容に関する資料を会場にて配布します。

慶北大学校（非）
全南大学校
日本女子大学
明星大学
相愛大学（非）
阪急文化財団
防衛大学校
井北勝又
上川田安
泰博帝
至子基典賢玉

■ アクセス MAP



【リムジンバスの場合】

- 仁川空港・金浦空港から
6101バス（道峰・城東行き）に乗車して、高麗大駅で下車。下車後、地下鉄6号線高麗大駅の地下道を通って、1番出口から出る。右側へ向かう緩やかな傾斜路を上ると、百周年記念館（博物館）が見える。
 - ・仁川空港のバス乗り場：3B、または、10B
 - ・金浦空港のバス乗り場：6番（国際線ターミナル）

【電車の場合】

- 仁川空港から
仁川空港駅で空港鉄道に乗車。金浦空港駅で地下鉄5号線に乗り換え、孔徳駅もしくは青丘駅で6号線に乗り換える。安岩駅・高麗大駅で下車。所要時間は約1時間半。
- 金浦空港から
金浦空港駅で地下鉄5号線に乗車。孔徳駅もしくは青丘駅で6号線に乗り換え、安岩駅・高麗大駅で下車。所要時間は約1時間。

■ CAMPUS MAP

